

「ならなぎ」外部案内 報告書

報告者： 玉尾 洋一

日時	2024 年 7 月 5 日 (金) 12 時 45 分～15 時 30 分	天候	曇り	コース名： ならまちコース
案内団体	シニア自然大学校 専科活動コース			人数 大人：31 名

(実施状況：リーダー、班編成、対象者の反応、質問など)

- ・参加者： 31 名
- ・リーダー： 北川、玉尾（ひ）、山下
- ・サブ： 吉川、山口、近野
- ・スタッフ： 玉尾（洋）
- ・受付対応： 先方の幹事さんが出欠確認をしていただいた。
- ・配布資料： ならなぎパンフレット・コース地図（先方でコピーをしてもらった）
- ・案内概要： 午前糞虫館の中村館長による糞虫探しの後、12 時 45 分明治天皇のクスノキをスタートした。例会ならまちコースの逆コースで鷺池から回った。ガイド一人に対し参加者 10 名と若干多めの対応となった。順調に進められたが、この夏最高の気温となり、離脱者が目立った。数人を音声館に案内し、休んでもらった。最終糞虫館に集合し、中村館長の説明を聞いた。

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など) 敬称略

- 【北川】雨の心配をよそに一転猛暑日、カンカン照り。個人的には頑張れる範囲でしたが、高齢者の多い講座生には酷でした。専科の講座の合間の案内メニューとして、今回のコースはやむを得ないと思いますが、我々の案内の最後は尻切れトンボの感じでした。案内ポイントをもっと省いてシンプルにするほうがよかったと思います。時間的には 2 時間程度が限度だと感じました。来年も同様の糞虫講座の繋ぎメニューになるようですので、コースをシンプルに考えるほうが良いでしょう。
- 【玉尾ひ】酷暑のならまち歴史散策でした。専科の皆様は、午前中の糞虫探しの疲れにもめげず、何とか最後まで歩かれました。コースがいつもとは反対で、鷺池からならまちの中心に向かって歩くので、説明に工夫が必要だと思いました。全般の説明はスペースがあり、周りに人が少ない奈良町天神社ですることになりました。私自身は、極楽坊に向かう途中、脚が痙攣して歩けなくなったのですが、専科の方々の親切で何とか最後の奈良町資料館までは案内できました。しかし、糞虫館までお送りする元気はなく、他班にお任せせざるを得なかったのが残念です。午前中の例会とのダブルヘッダーは、無謀だったと反省しています。
- 【山下】昨日は大変暑く、ガイドの私は大丈夫だったのですが、行程の後半お客の表情が疲れた様子でしたので塔跡付近から説明を簡単にし、庚申堂からガイドを切り上げて糞虫館に向かいました。本日のガイド時間は 1 2 時 4 5 分から 1 5 時 3 0 分の 2 時間 4 5 分、酷暑の中のガイドは 2 時間以内の方がよいのではないかと思います。
- 【山口】この暑い中、朝からと昼からのダブルヘッダーでリーダーさんは大変だったと思います。説明しなければならぬ中、自分の水分の補給もままならなかったことと思います。また、リーダーが説明しようとしている前に話したり、離れたところで別の説明をしてリーダーから離れてしまったりする人がいたのに、ならなぎで先輩格の人に注意するのに躊躇してしまい、阻止できなかったこと反省しています。シニア自然大学なら、入場料を払ってでもならまちコースで一番と思われるお寺（例えば元興寺）にで入場してもよかったのではないかと思います。
- 【近野】山下さんの説明は素晴らしいのですが、如何せん命に関わる猛暑なので、11 名の内 1 名は中盤でリタイア、3 名は後半に糞虫館に向かう。これだけ暑いと全く説明が頭に入らないとおもいます。今後も猛暑が続くので、行程を短くするか、時間帯を変える

かの変更が必要だと考えます。

【玉尾洋】大変暑くて頭がボーっとして、長時間の案内は危険と感じました。北川さんのコメントにあるようにコースの見直しの必要性があります。

・会計報告

【収入】： 協力金： 1万7000円

【支出】： 活動費： 北川、玉尾（ひ）、山下、吉川、山口、近野 各1000円

以上

配布先：代表、副代表、事務局長、リーダー全員、担当班長、会計